琉球大学学術リポジトリ

東南アジア視察旅行について

メタデータ	言語: 出版者: 南方資源利用技術研究会 公開日: 2014-10-26 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/0002017499

【東南アジア視察旅行について】

―バイオマス開発技術フォーラム参加の勧誘―

本年４月に開催されたバイオマス国際シンポジウムは盛会のうちに幕を閉じましたが，東南アジア等に対する関心が冷めないうちに，東南アジアへの視察ツアーを企画して，現地の状況を知ることに

よって今後の活動の参考にしたらどうかという会員からの要望がありました。

そのような折たまたま，東南アジアにおいて「バイオマス開発技術フォーラム」を予定しているが，ついてはフォーラムチェアマンを國府田会長にお願いしたいとの要請が〝テクノロジートランスファー研究所〟から寄せられました。

理事会等において討議した結果，國府田会長のフォーラムチェアマン派遣はもちろん，本研究会としても後援団体になることが決定されました。

そこで，会員の皆様でこのフォーラムに参加されたい方，あるいは，これに乗って東南アジアに出かけ視察，調査等を希望される方がおられましたら，事務局の方でお世話申し上げますので，１２月中旬ぐらいまでに，連絡ください。

なお今回は都合が悪いが是非東南アジアに行きたいと考えておられる方は事務局まで連絡ください。希望者が多ければ別途計画をたてたいと思います。

なお，今回のフォーラムの計画の概要は次の通りです。

趣旨

資源・エネルギーの危機に直面して，バイオマスに対する期待が高まっており，特に再生可能で永遠に循環利用できるエネルギーとしてのバイオフューエルの開発が盛んに行なわれている。しかし大量に集中生産され，比較的用意にエネルギー源に変換できる有力な資源を持たない我が国では，バイオマス利用技術の実用化は必ずしも容易ではない。東南アジアは高温多雨，豊富なバイオマス資源に恵まれている。もちろんその収奪は許されないが，我が国の優れた頭脳を以て技術援助を行ない，開発に協力することは，現地にとってもひいては我が国にとっても極めて有意義なことと考えられる。

本フォーラムは我が国の学識経験者，技術者が現地におもむき，利用可能な生物資源の種類と量を把握し，技術開発の可能性をさぐるとともに，我が国の蓄積した研究成果・技術を発表して現地の研究者・技術者との討論により緊密な連繋を確立し，将来のエネルギーのみならず，食糧，飼料，肥料その他の工業原料を含む資源確保のための総合的バイオマス利用システム開

発の方途をさぐるものである。

特に今回はパームオイル世界最大の生産地であるマレーシアに，我が国の技術を移転しこれをさらに有効に利用する道を開こうとするものである。

関係各位の積極的な御参加を期待致します。

1．テーマ：バイオマス開発技術フォーラム

2．主催：テクノロジートランスファー研究所

3．後援：南方資源利用技術研究会

4．開催国：マレーシア，シンガポール

5．開催時期：

マレーシア	昭和５９年1月３０日～３１日
シンガポール	昭和５９年2月２日～３日
総派遣日数	1月２９日～2月５日　８日間

6．内容：1）発酵アルコールの製造

2）発酵生産と蛋白製造

3）パームオイル有効利用

4）バイオインダストリーの廃液処理活用

詳しいことを知りたい場合には事務局まで連絡ください。また，参加希望の方は現地での活動の予定を知らせてください。

（事務局）